

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

| | |
|------|--------------------|
| 氏名 | 阿部 奈津子 |
| 所属 | 法学部法学科 |
| 学年 | 2年 |
| 留学先 | マレーシア マラヤ大学 |
| 留学期間 | 2023/2/12~2023/3/5 |

留学レポート Study Abroad Report

✓はじめに

私は、春期休暇を使って3週間マラヤ大学のSEPに参加しました。参加のきっかけは、英語を話す自信を身につけ、自分の意見を英語で伝えられるようになりたいと思ったからです。そして、このプログラムはその目標を達成することができる充実したプログラムだったと言えます。

✓プログラムの概要

私の参加した ELC は、英語の授業とアクティビティ(トリップ)が主なプログラム内容です。基本的には、平日の午前中は授業を受け、午後からは、マレーシアの伝統的なダンスの練習かマレーシア観光などのアクティビティが行われます。休日は、1日中マレーシアの観光名所に旅行に出かけます。このように非常に充実したプログラムが用意されているのですが、さらに忘れられない思い出にしてくれるのが、バディ制度です。参加者は、日本人5人とローカルバディ1人の6人で一つのグループとなり、このグループで、食事をし、授業を受け、フィールドワークに出かけたり、放課後に外出したりします。私の同じグループの日本人は大阪公立大学だけでなく、関西学院大学、岡山大学、鳥取大学から参加している人で、性別もバラバラでした。知らない人ばかりの中で、ローカルバディとうまく英語で話せるのか最初は不安でしたが、すぐに打ち解けることができました。1日中一緒に過ごしていたので、周りから家族のようだとされるくらい仲が良く、本当に忘れられない3週間になりました。

✓1日の流れ

ホテルから大学までは徒歩10分以内で行くことができる距離なので、大体7:45くらいに集合して大学に向かっていました。大学への道中では野生の猿やリスを見ることができ、とても新鮮でした。大学に到着すると、まずみんなで朝食を食べます。朝食は、メインのほかにトーストやシリアルも用意されていて、特にカヤジャムが美味しかったのでオススメです。

朝食の後は9:00から英語の授業が始まります。このプログラムでは主に4種類の授業がありました。(Reading & Vocabulary, Writing, Grammar, Speaking) クラスは4つに分かれていて、1クラスあたりおよそ日本人20人、ローカルバディ4人くらいの規模でした。日本の英語の授業とは全く違って、授業はどれもアクティビティが多く、英語を話す機会が多く設けられていて学んだことをすぐにアウトプットできる授業ばかりでした。私は、最初は手を挙げて発言する勇気が出ず、指名されるのを待つような受け身で授業を受けていました。しかしながら、ローカルバディたちが積極的に発言している姿を見て、私も次第に手を挙げて発言できるようになりました。先生もバディたちも自分の拙い英語を真剣に聞いてくれて理解しようとしてくれるので、恐れずに挑戦してみることが本当に重要だと感じました。先生は、雑談や質問も気軽にすることができるといって、みんなのFirst nameで呼んでくれるのでアットホーム感があって、2時間の授業もあっという間に終わってしまいます。このような授業のおかげで、最初に比べると自信をもって英語を話せるようになったと感じています。

13:30に授業が終わると、昼食です。昼食も朝食と同様、みんなで一緒に食べるのですが、自由席なので、同じクラスでないバディとも話せるチャンスでした。毎日マレーシアの料理が用意されていたので、ローカルバディたちに料理の名前を教えてもらったり、たわいない会話を楽しむことができる時間でした。特にフルーツがとても美味しく、私のオススメはHoneydewというメロンです。

昼食が終わった後は、2クラスずつに分かれて異なるプログラムが行われます。1つ目は、伝統的な音楽・

ダンスです。これは、伝統的な音楽をするチームとダンスをするチームに分かれて最終週の Closing ceremony での発表に向けて練習をします。私はダンスを選びました。ダンスもさらに 3 チームに分かれていて、マレーダンスやチャイニーズダンス、ボルネオダンスといった多民族国家マレーシアならではの様々な民族のダンスに分かれて、練習します。ローカルバディたちも一緒に練習するので、分からないところを教えあったりして、会話もたくさんできました。私はマレーダンスに挑戦しましたが、ダンスの先生も優しくダンスが苦手な私でもなんとか頑張ることができました。Clothing ceremony では衣装や演出もあって一生忘れない貴重な経験になりました。

もう 1 つの午後のアクティビティは、トリップです。これは、みんなでバスに乗って観光地やマレーシアの重要な場所を見学しに行くというものです。このアクティビティの中で特に印象的だったのは、ブトラ・モスクです。ブトラ・モスクはピンクモスクとも言われている通り、ピンク色のかわいらしいモスクで外観だけでなく、内観も非常に美しかったです。モスクはイスラム教の礼拝堂なので、女性は肌をなるべく隠さなければならず、私たちもローブを着て見学しました。このように、トリップではマレーシアの文化を知ることができる様々な場所を訪れることができました。授業のない休日は、朝からこのトリップに出かけました。

午後のプログラムが終わったら、一旦ホテルに戻り少し休憩したのちに、晩御飯を食べに出かけます。ここで私がびっくりしたことは、マレーシアの人は晩御飯を食べる時間が遅いという事です。大体 20:00 頃に食べていました。この理由は、午後のプログラムの後にアフタヌーンティーという軽食を食べる時間があるからだと思います。このように食事ひとつにしても文化の違いを感じられて面白かったです。晩ご飯は、毎回バディが様々なものを食べに、ショッピングモールやナイトマーケットなどに連れて行ってくれるので、飽きることがなく、いろいろな料理に挑戦することができました。この晩ご飯の時間はバディ以外の現地の人と英語で会話するチャンスでした。料理を注文したり、会計をしたり、Grab という配車サービスの運転手と話すなどして、授業で学んだことをすぐに使ってみることができました。

晩ご飯を食べてホテルに戻った後は自由時間だったので、バディや友だちと授業の課題をしたり、UNO やトランプをしたりして、本当に寝る直前まで一緒に楽しい時間を過ごしました。



✓発見したこと

○マレーシアのマクドナルドには「おかゆ」がある！

SEP は充実しすぎなくらいのハードスケジュールで十分休めないときもあり、体調がすぐれないことが多々ありました。そこで本当に助かったのが、マクドナルドのおかゆです。日本のおかゆと違って、生姜や鶏肉が入っていて、味もしっかりついているのでとてもおいしく、栄養も取ることができるのでオススメです。合わせて、100plus というスポーツドリンクのような飲み物もあらゆるところで売っているので助かりました。

○マレーシアではユニクロは高級ショップ

日本だとユニクロは安くいい物が買える店だという印象が強いですが、私のバディはユニクロは高いと言っていました。マレーシアのユニクロの商品は日本とほぼ値段は同じです。ですが、ナイトマーケットではTシャツ 1 枚 300 円(10RM)くらいで売られていたので、それに比べるとユニクロは高いのかもしれない。

✓最後に

SEP の魅力は、ローカルバディたちや他の参加者と 3 週間ずっと一緒に充実した時間を過ごすことができるという事です。慣れない環境の中でハプニングは沢山ありましたが、みんなで協力することで乗り越えることができました。3 週間で飛躍的に英語が話せるようになったわけではないけれど、英語を話すことに抵抗がなくなり、英語を話すことが好きになることができたプログラムでした。バディたちも国は違っても同年代の大学生なので話題に困ることはないです。バディたちも私たちの英語を熱心に聞いてくれるので、同年代の友達を作りに行くくらいの感覚で、少しでも興味があったらチャレンジしてみることをオススメします！